

佳作

全力をつくすために

青森県田舎館村立田舎館中学校

1年 櫻庭 羽純

「最近、少子高齢化が進んでいるため、医療業界でも人手が足りず、すぐに治療を受けられずにいるという問題が発生しています。」

私はこのニュースを聞いたとき、このように困っている人たちや、自分の大好きな家族・友達など、たくさんの人を助けてあげられる人になりたいと思いました。そして、その夢をかなえるために、医療関係の仕事に就こうと思いました。

まず、医療関係の仕事とはどのようなものがあるのかについて調べてみました。

医療関係の仕事は大きく分けると三つあります。

一つ目は病院や診療所・クリニックでケアや治療をする医師・看護師・助産師・薬剤師・保健師などの直接患者さんたちと関わることの多い仕事です。

次にそれぞれの分野のスペシャリストなどといわれている、介護やケアをする理学・作業療法士・視能訓練士・言語聴覚士、義肢装具士、診療放射線技師、臨床検査技師などの仕事があります。

その他にも、薬の開発や医療の研究に関わる仕事などさまざまな分野でいろいろな仕事があることがわかりました。けれども、全ての仕事には、ある共通点がありました。それは患者さん一人一人に向き合い、自分の全力を尽くしているということです。

「全力を尽くす。」

口では簡単に言えますが、いざ実行するとなると失敗してしまったり、その前にくじけてしまったりもします。ですが、医療に携わっている人たちは絶対にあきらめたりはしないと思います。

人を救うために。自分のことではなく周りの人たちのことに全力をつくす。それは難しいけれど、とてもかっこいいことだと思いました。そして私もそんな人になれるように、自分のことに全力をつくすだけでなく、何事にも全力で取り組んでいこうと思いました。

それから困っている人によりそったり、進んで活動したりと、いろいろなことに全力で取り組んでみました。その中でも、私が一番熱量をもって取り組んでいることが「常に笑顔で明るい人である」ということです。一人が笑顔で明るい雰囲気だと、自然と周りも明るく、笑顔になります。

例えば、暗い雰囲気笑顔が一つもない病院に行きたいと思いませんか？ 子どもたちが働いてみたいと思えるような場だと言えますか？ 私はそうは思いません。そこで働く人たちが明るく、笑顔でいるからこそ、周りも明るく、「ここに来たい」「ここで働いてみたい」と思えるのではないのでしょうか。そのような場所であるように、笑顔をたやさず、明るくすごすことが大切だと思います。

だから私は、みんなが安心してすごせるように、みんなが楽しくすごせるように、これからも明るく、笑顔をたやさないように生きていこうと思います。

そしてもう一つ、私が挑戦してみたいことがあります。それは、たくさん子どもたちやお年寄りとおふれあい、いろいろな人たちと関わるということです。十人十色というように、世界にはたくさんの人たちがいます。その中で治療を受けられず、苦しむ人や困っている人。そういう人たちと関わり、より多くの人を楽しませ、笑顔にしてあげられたらいいなと思います。

苦しんでいる人や、病気になってしまった人を助けてあげられるのが医療関係の仕事であり、一人の命を守るということは、とても多くの人たちに力を与えてくれます。今の私や、周りの人たちが元気で楽しくいられるのも、きっと医療業界で働く皆さんのおかげだと思います。そして、医療関係の方々の努力と私たちが笑顔でいることを心がけることで、苦しんでいる人たちがへると私は信じています。

皆が一人のために努力し、より多くの人たちが幸せにすごせますように。みんなが笑顔で明るくすごせますように。私は今、自分にできることに全力をつくしていきたいと思っています。